

ています。地域で取り組む避難訓練や、災害時を想定した図上訓練「D I G」は、とても有効な活動です。取り組みましょう。



富川二葉保育所が津波を想定した避難訓練 あわてず、落ち着いて高台へ避難

11月23日、富川二葉保育所の避難訓練が、4歳・5歳の園児51名が参加して行われました。

保育所での訓練は毎月行われており、今回は、地震による大津波警報が発令され、避難指示が出されたことを受け、職員の誘導のもと高台の避難場所へ徒歩で移動する内容です。保育所を出発した園児たちは、市街地を通り、数分かけて避難場所となる町営富川球場へ全員が到着しました。

同保育所の高橋正博所長は、「地震は、いつ来るかわかりません。これからもしっかりと訓練しましょう」と園児に呼びかけました。



「3署合同避難訓練」に門別本町地区の住民らが参加 津波を想定し、高台へ徒歩で避難

11月22日、日高管内警察署3署合同による避難訓練が行われました。

午後1時30分に震度6弱の地震が発生、大津波警報が発令された想定のもと、門別本町地区の住民ら約150名は、防災無線による避難指示を受けて自宅などから門別中学校、門別自然公園の2箇所の一次避難所に徒歩で避難しました。

一次避難所では、避難者名簿の作成が行われた後、富川自動車学校のバスなどで二次避難所の門別総合町民センターに移動しました。

災害対策本部の設置やボランティア連絡協議会による炊き出しも行われ、いつ起こるかわからない災害に備え、貴重な訓練となりました。



町内の避難所に海拔標示板を設置 津波に対する意識を高め、備えて

町では、沿岸部の避難所に指定されている海拔50メートル以下の施設48箇所に、海拔を表示する看板を設置しました。

この看板の設置により、日頃から町民の皆さんに目にさせていただくことで海拔を覚えていただき、いざというときに役立てていただくことを目的としています。

今後は、今回設置した看板の他にも、国道・町道沿いの電柱や公共施設の出入口など、目につきやすい場所に海拔標示板を設置する予定で、認識を高めてもらうための取り組みを進めていきます。



富川表町第3区町内会で災害図上訓練「D I G」開催 災害に強い地域づくりを目指して

富川表町第3区町内会は、11月29日、町内会の防災意識を高めようと「D I G」を開催しました。

今回で2回目となるため、避難所に持ち込む貴重品を一つだけ持ってきていただき参加してもらいました。大半の方が携帯電話でしたが、くすり、圧縮タオルなどを持参した方もいました。

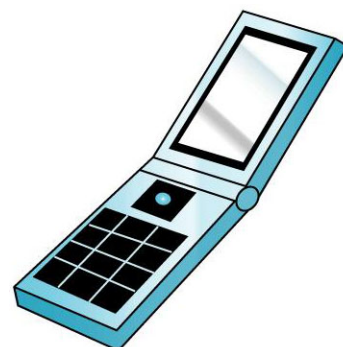
訓練は、午後10時に大津波警報発令の想定で実施。「家での行動」や「避難所に持って行く物」などを付箋紙に記入した後、避難ルートの確認、高齢者などの要援護者宅をマークし、災害時には一緒に避難するよう呼びかけました。

12月1日より「緊急速報エリアメールサービス」開始

日高町では、NTTドコモが実施しているエリアメールサービスを利用して災害時の災害・避難情報を12月1日より配信しています。

このサービスは、災害時に日高町のエリア内のNTTドコモ携帯電話端末に対して災害・避難情報を配信するもので、日高町民の皆様のほか、町外から日高町に来られている方にも情報が配信されます。

パケット料金や月額使用料などの料金は無料です。



〔受信可能情報〕

- ・気象庁から発表される緊急地震速報
- ・日高町から発信される災害情報・避難勧告等の情報

エリアメール対応機種は、NTTドコモのホームページ、またはiモードのiメニューで確認することができます。

※ 現在、NTTドコモのみがこのサービスを提供しておりますが、今後他社にて同様のサービスが実施される場合は導入を検討していきます。

<エリアメール概要イメージ図>

